

研修No. 4 1

2022 年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2023年 3月 28日
研究・研修課題名	臓器提供に関する勉強会・臓器提供セミナーの開催、脳死判定セミナー・移植学会及び他大学で行われるシミュレーション等への参加・見学
研究・研修組織名(所属)	院内移植コーディネーター
研究・研修責任者名(所属)	石富 豊(医療サービス課)
研究・研修実施者名(所属)	永井秀政、三瀧真悟、竹谷健、室野井智博、二階哲朗、太田淳一、土江佳香、塩野明日香、小村宏美、原百合香、家本美佳、山崎祐子、岩谷由美、石飛文規、石橋敦、平木美穂、長廻佳穂里、竹内正樹、妹尾信孝(脳神経外科、脳神経内科、小児科、高度外傷センター、集中治療部、看護部、看護部、検査部、医療サービス課、泌尿器科、総務課、医療サービス課)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得 <input checked="" type="checkbox"/> その他の成果(該当なし)
該当者名(所属)	
学会名(会期・場所)、認定名等	
演題名・認証交付元等	
取得日・認定期間等	
診療報酬加算の有・無	<input type="checkbox"/> 加算有() <input type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容**①目的**

島根県移植コーディネーターを交えた脳死下・心肺停止下臓器提供の個別勉強会の開催及び発生から提供までのシミュレーション(連絡体制中心)、中四国地区から講師2名を迎えた臓器提供セミナーを計画する。また、各学会が主催する脳死判定セミナー及び第58回日本移植学会総会(名古屋市中区)に参加し、脳死判定のスキルの向上や、幅広い知識を得て、院内の体制、臓器移植推進に努める。加えて、自治医科大学の脳死下臓器提供シミュレーションの見学に行く。

②方法

島根県移植コーディネーターを交えた個別勉強会(手術部、ICU、救命救急センター)、中四国地区から講師2名を迎えた臓器提供セミナーを開催し発生時の対応に生かす。また、脳死下、心肺停止下臓器提供マニュアルを基にシミュレーション(連絡体制中心)を実施し、院内体制について理解する。なお、学会が主催する第58回日本移植学会総会(名古屋市中区)に参加し、脳死判定のスキルの向上や、学会で得られた知識を基に、院内での移植医療の普及啓発活動を行う。加えて、自治医科大学の脳死下臓器提供シミュレーションを見学し、院内の運用に生かす。

③成果

島根県移植コーディネーターを交えた脳死下・心肺停止下臓器提供の個別勉強会の開催及び発生から提供までのシミュレーション、中四国地区から講師2名を迎えた臓器提供セミナー、自治医科大学の脳死下臓器提供シミュレーションの見学については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大及び、感

(様式1)

染防止に伴い、やむを得ず中止となった。

来年度については、新型コロナウイルス感染症も5類に移行となることから、臓器提供に関する勉強会・臓器提供セミナーの開催、脳死判定セミナー・移植学会及び他大学で行われるシミュレーション等への参加・見学を是非行いたいと考えている。